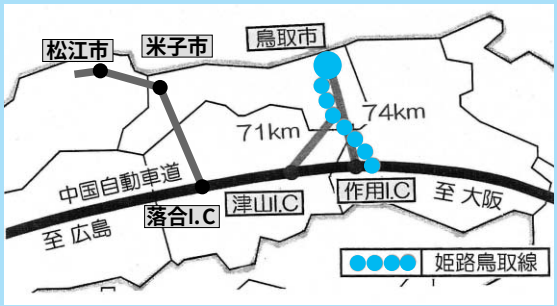
最寄りのインターチェンジは隣の県！

市内から70km先にインターチェンジが！

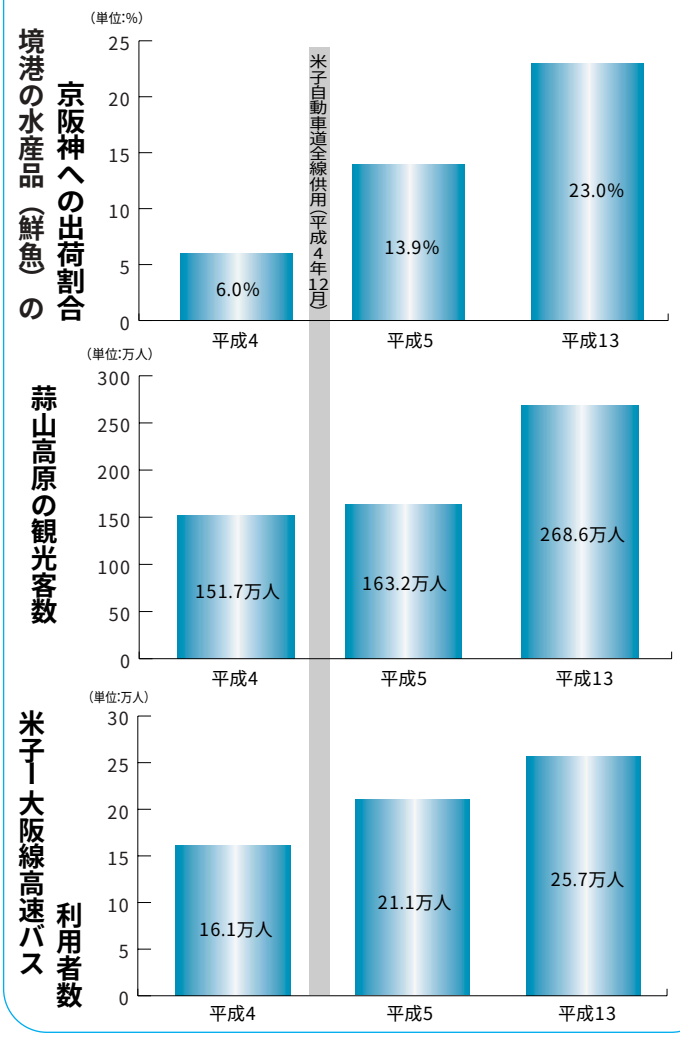
他の都市では考えられない！



人口15万以上の都市でインターチェンジまで30分以上かかるのは鳥取市だけ！

むろん、県庁所在地で高速道路が通っていないのは鳥取市のみ！

高速道路が開通して米子市周辺はこう変わりました



これ以上の延期は許されません

1　鳥取市や沿線の町村は、平成19年の姫鳥線の開通を前提とした地域活性化を進めており、地場産業の育成、工業団地の造成、観光地の整備、全国規模のイベントの招致などあらゆる努力を行っています。

2　姫鳥線の整備にあたり、国との協議で、国土交通省の直轄事業となった「志戸坂峠道路（姫鳥線の一部）」に対し、地方としての負担金を支払っています。また、地方の責任として関連する県道整備も行っています。国は最後まで責任を持って姫鳥線を道路公団方式などのような早期に建設が図られる手法を用いて整備を進めるべきです。

＊ 道路公団方式：直轄事業では予算に限りがあるため整備が進みません。そのため、公団が全線の利用料をプールしたり、建設費を借り入れたりして早期に高速道路を整備する方式です。

3　鳥取市は、最後まで高速道路の整備を待たされてきたことにより、いわば産業の発展を押さえられてきたわけです。これからは、地方の時代と言われています。このまま高速道路がない状態が長期間続くと、既に高速道路が通っている地域との格差がますます生じることになり、地域間の競争を生き抜くことが難しくなってしまいます。同じ土俵に上がれないことは不公平で、私たちにとっては死活問題です。